

とうせい歯科医院からインプラント治療を

希望される方々へのお知らせ！

○ とうせい歯科医院のインプラント治療

[使用インプラント]

とうせい歯科医院では、1987年(昭和62年)12月開院以来、まだ現在の様なインプラント治療が国内に入ってきた試験的な段階の頃から研修を行い、その後もインプラント治療の行われた後の予後の経過観察も先進の先生方の所で研修させてもらいながら、1990年から国内発売の認可の下りたスイスのストローマン研究所によるチタン製「ITI インプラント、Bone - Fit type」を導入して来ました。



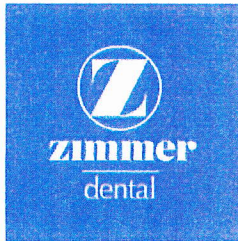
Straumann JAPAN

ITI (International Team for Implantology)は1980年に口腔インプラント歯学と歯周組織再生術の発展のために設立された、非営利の国際的な学術グループです。歯科学・口腔外科学・歯科補綴学・生物学・生化学・冶金学・物理学・歯科技工学など各分野の専門家ネットワークで構成され、科学的理論に基づいた実験や臨床研究を行っています。ITIとの長年のパートナーシップにより、これらの研究成果はStraumannインプラントの製品開発に反映されています。Straumannインプラントの信頼性の高さは数々の学術論文に掲載されています。

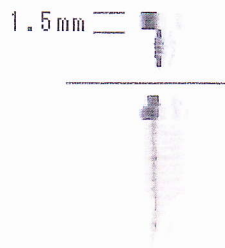
その後、1990年代後半から国内メーカー、ブレンベース社製の「マイティス（マイ・ティース：自分の歯と言う意味）インプラント」を導入し、併用しはじめました。



そして、2007年よりアメリカの Zimmer 社、(医療用人工関節から全身のほとんどの骨格を構成する部分のチタン製医療製品を製造するメーカー)のデンタル(歯科)インプラントを導入決定し、2008年の初めより診療に取り入れております。

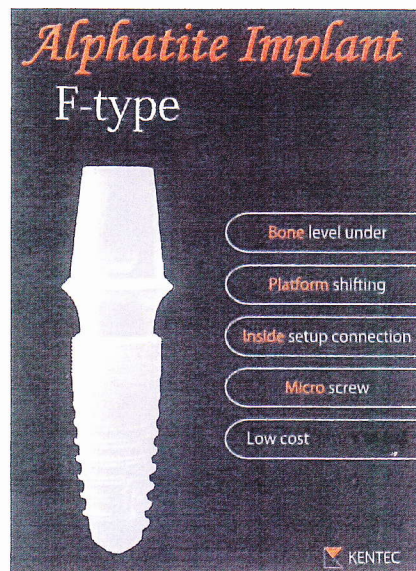


zimmer dental 株式会社 白 鷗
〒102-4304 東京都千代田区麹町1-3-23



Spline Twist スプラインツイスト MP-1

さらに2010年からは、国産のインプラントメーカー：KENTEC社の開発した「アルファタイトインプラント」の中でも最新の長期安定性を追求した「Fタイプ」を導入決定し、臨床にて使用しております。

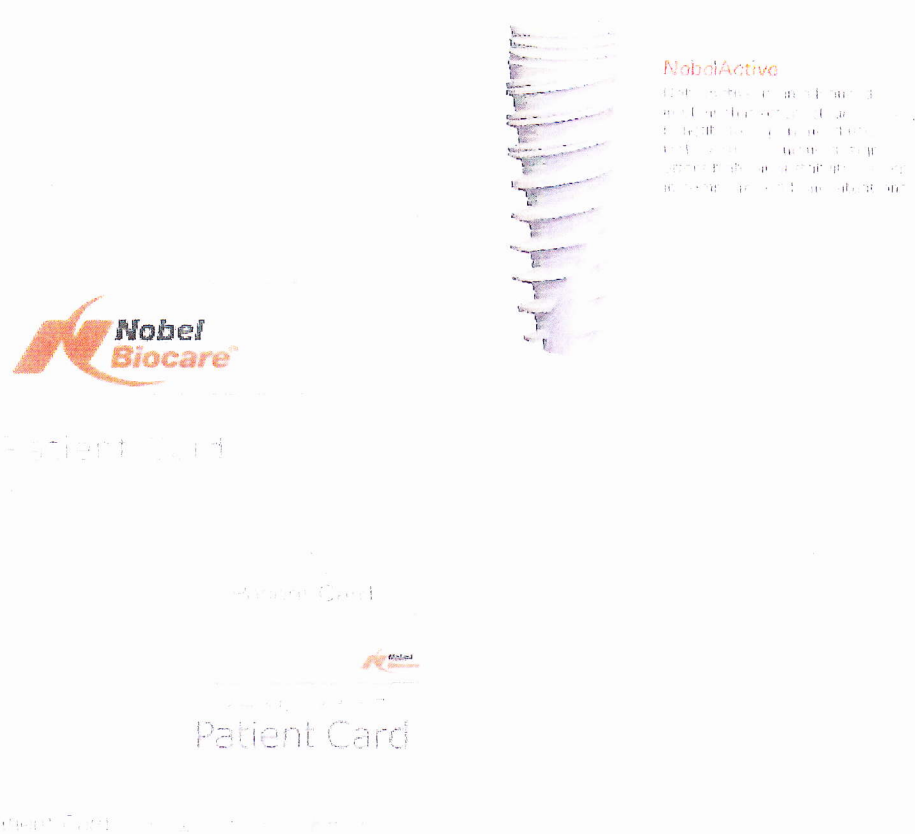


そして、2011年からは、世界の発売から遅れること数年で、2010年秋に日本での認可が下りた最新鋭のインプラント「ノーベルバイオケア社」の「ノーベル・Active」を臨床に取り入れることにしました。

費用的には一番高額に成りますが、世界で一番使用率が高い上、一番長い歴史があるインプラントメーカーです。更に治療後、使用インプラント本体は10年間のメーカー補償制度があり、「患者カード」を発行しているのです。それを基に世界中で治療後のインプラント本体と使用パーツの補償が受けられます。(治療費の全額補償という意味ではありません) ノーベルバイオケア社のインプラントユーザー(歯科医師)の診療所でその後の治療をしてもらえます。

NobelActive - Nobel Biocare Dental Professionals Portal

NobelActive. A new direction for implants.



写真左側はノーベルバイオケア製品使用治療所発行カード

[レントゲン診査：CT スキャン、デジタル画像診断]

従来、インプラント治療を行う前の診査には、レントゲン診査（X線写真）を多用してきましたが、近年ではそれにプラスして医科でも多用されているCTスキャンによるレントゲン診査を行う事が、より安全により正確に手術や治療を最後まで行う上で、重要視されてきています。

そこで、当医院でもインプラント治療の術前診査として最新鋭の歯科用 CT を導入し、レントゲン診査を行い、より正確により安全にインプラント治療が出来るように努めております。

検査診断料に費用がかかりますが、より安全にインプラント治療が行われるように御了解をお願い致します。（健康保険適用外）

ご不明な点等ありましたらお気軽にお問い合わせください。

○ どうせい歯科医院のインプラント治療の実績

どうせい歯科医院でのインプラント治療のコンセプト（普遍的概念）は、歯が無い所に対して「何が何でもインプラント」とは考えておりません。また、いくら患者さんが望んだとしても、診査診断の上、無理な時はお断りさせていただきます。（理由をご説明します）

インプラント治療が優れたものである事は、十分熟知し、日々研修して来ているつもりですが、お口の機能と健康を取り戻すためには、患者さんの希望や同意納得が最優先されるものだとも考えております。

また、インプラント治療だけが患者さんにとって、もっとも優れた治療法である。とも言えない。と、現在も考えております。

インプラント治療と出会い、始めて、過去 20 年近く経ちますが、はじめてしばらくの時に、メーカーの製造上の欠陥により直径 3.3 mmの細いインプラントが折れた事があり、数年間はインプラント治療を見合わせた事もありました。現在はメーカーが弱い部分を改善して強度が増しているために以後事故は無いようですが、このサイズのインプラントは特別な時以外は使用しておりません。（基本的には、直径 3.7 mm以上のものを使用）

さらに、その後はインプラント体の表面性状が各社から改善された物が出ており、より早く、より強固に骨と結合するインプラント体を調査の結果、選んで使用するよう改善、改良してきております。そのおかげでしょうか？ 今のところ治療後のケースでは順調な方々が数多くいらっしゃいます。

しかし、症例ケースを選び、患者さんの同意を得た時だけインプラント治療を行ってきた事で、症例本数は今現在でも、200本弱の実績です。（最近インプラントの普及とともに近年、症例ケースは増加傾向です。）

○ インプラントの寿命

よく、「インプラント治療はどのくらい持つのだろうか？」という質問を頂いたり、新聞や週刊誌などでも問題にされますが、どのような歯科治療でも一生持つと言う事はあり得ないでしょう。(自分の歯でも一生長持ちさせると言う事は大変難しい事です。人間の歯も使用すれば変化して失われていくものです。) では、たった数年(2~3年)でダメになるものかと言うと、その様な事はありません。

治療後、体質やその後の全身疾患など個人差はありますが、治療上の問題があると、数年で(3年以内)ダメになったり、事故が起こる様ですが、5年以上もてば、現在の改良型インプラントでは、インプラント本体と顎の骨との間では、10年以上問題は起きにくいと言われています。(当医院でも10年以上経過したケースが多数あります)

しかし、インプラント本体の上に作られる歯の部分(上部構造体)は、経年変化やお口の中の変化により、何年かすると取り換えや調整をしなければならなくなるでしょう。それを無視して使用していると、上部構造物が壊れたり、インプラント体との接合部分がゆるんだり壊れたり、緩んだ状態でのガタついた動きでインプラント本体が揺さぶられて顎の骨との結合が壊されて来て持たなくなり撤去しなければならなくなる様です。(再手術へ)

そのために、機械的な物としての側面から、術後の定期検診(レントゲン検査や歯肉の状態検査や咬み合わせの検査)は怠らない様に致しましょう。

結論は一概にはまとめられませんが、インプラント治療の寿命としては定期検診を実施して頂いている方で、その後大きな全身的な問題や事故による外傷が無ければ、インプラント本体は約10年以上持つだろうと言われています。

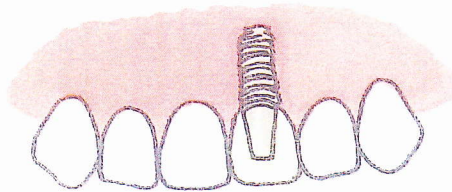
インプラントの上部構造に関しては、治療後にお口の中の変化や使用して行く上での経年変化により、5年単位で咬み合わせ調整や場合によっては壊れたら再制作をして取り換える事が必要になるかもしれません。

しかし、自分の歯に最も近く、違和感が少なく、よく咬める、痛くない人工の歯は、インプラント義歯であると言えるでしょう。

○ インプラント治療のメリット・デメリット

インプラント治療の利点欠点については、当医院のホームページの中で「かむかむ」にも詳しく書いてあります。 一度ご覧頂くと良いと思います。

- 利点：
- ・自分の歯が元有った場所に、ほとんど元有った時のように歯が出来上がる。(違和感が少ない)
 - ・見た目に人工の歯と分からないくらいの出来上がりで、治療後が目立たない。
 - ・部分入れ歯と比べてガタつかない。固定式でしっかりと咬める。(ほぼ自分の歯と同じ感触で使用できる)



- ・部分入れ歯と比べて、自分の元のお口に近いため、入れ歯を入れると嘔吐反射（吐きっぽくなる）のある人には、快適な会話や食生活が送れるようになる。
- ・歯の無くなった部分だけが治療対象なので、隣在歯(隣の歯)や他の歯や他の部分に負担を掛けない。(お口の中がスッキリと元通りの広がりになる。部分入れ歯に比べて話しやすい。)
- ・他の歯を削ったり、他の歯に負担がかからない分、他の歯の寿命が延びる事につながる。
- ・部分入れ歯の人は、入れ歯の人工歯が擦り減っていく事や、歯の無い部分の顎の骨が段々吸収して行く事で、咬み合わせが変化したり、咬み合わせが低くなる傾向があるが、インプラント義歯はそれが無いが、ほとんど変化しにくい事が分かっている。
- ・咬み合わせの変化がほとんど無いが、変化が少ないために、顎のかみ合わせの高さが低くなりやすく、他の残存歯に負担がかかりにくい。咬合の変化による影響が部分入れ歯よりも出にくい。(長い目で見て多くの歯を残していく事に繋がる。)
- ・インプラント義歯でよく噛めるようになる事と同時に、揺れていたような歯が保護されて、揺れなくなり抜かずに助かることもある。
- ・部分入れ歯と違い、顎の骨の吸収が抑えられるだけでなく、インプラント体の周りの骨には、機能的に咬む力が加わり続ける事で、インプラント体周囲の骨が丈夫になる(硬くなる)事が報告されている。

- 欠点：・健康保険制度に導入されていないために、全額自己負担(自由診療)となり高額な診療費となりやすい。
- ・インプラント義歯のためには、インプラント本体を顎の骨に埋めるための外科的手術が必要となるために、誰でもすぐに出来る訳ではない。(術前の検査が必要となります。検査結果により出来ない場合もあります。)
 - ・インプラント治療以外の補綴治療にも言えることですが、治療後定期的に検診を受けていくことになり、長い目で見ると、歯科医院との関係は歯が無くなるまで長期間にわたって続いていく事になります。(しかし、早期発見早期治療の観点からは、定期健診が無ければトラブル時に多額の修理費や治療費が掛かる原因となります。)
 - ・インプラント治療後は、修理や交換に対しては、使用しているインプラントメーカーの部品が共通で使用できない(現在一部のメーカーに対しては共通で使用可能)ために、原則は同じインプラントメーカーのインプラントを使用している歯科医院のみでの修理、応急処置対応となる。
 - ・将来、高齢者となり口腔衛生状況が悪くなり自分でケアが出来ない時に、維持管理が難しくなる。→ 歯科医院にて専門の歯科衛生士などに管理してもらおう。又は、上部構造体を撤去してもらい、インプラント本体を眠らせる。(歯肉の下へ本体を埋入してしまう。)



※インプラント体が、上下一体の物は、分離が出来ないため撤去困難！撤去するためには再手術が必要な事も有るために、費用がかかっても上下分離型を選ぶ方が後々の将来に対しては有利、安心です。

○ インプラント治療のケース別費用概算

・インプラント治療に掛かる費用については、原則、健康保険制度の適応になりません。消費税も掛かり、全額自己負担と成ります。(医療費控除の対象になります。)

※ **医療費控除**：納税者が一年間に掛かった医療費の総額(生計を一として暮らしている自己と配偶者とその親族の全て)を総所得額から控除してくれる事で、納税額の軽減に繋がります。

※ 医療費控除額を算出するには、
 総支払い医療費額－保険金等の受給率－100,000円(総所得額 200万円未満は総所得額の5%)＝医療費控除額 (年間、最高200万円)

- ・まず、お口の中の状況と治療についての説明をするガイダンスを受けて頂きます。その後、診査や検査により診断と治療計画を立てさせてもらい再度ガイダンスを行い、患者さんの同意のもとで、治療へと入っていきます。
- ・治療完了後は、メンテナンスへと移行していきます。

[項目]	料金(消費税込み)
○ インプラント治療相談、ガイダンス料	無料
○ 検査費用：咬合診断料	
CT レントゲン検査料	37,800 円
CT レントゲン画像分析料 (本来 38,000～45,000 円)	当医院撮影、無料
○ 治療説明、ガイダンス料	無料
○ 上部構造体制作料(1本)	
アバットメント(支柱) 交換 使用材料・ケースにより	32,400 円～
セラミック(陶材製)クラウン・メタルボンド	129,600 円
セラミック(陶材製)クラウン・ジルコニアコア(オールセラミック)	108,000 円
○ メンテナンス料 (定期検査) 基本検査	3,780 円
・咬合診断、レントゲン検査料 (CT レントゲン含まず) のみでの説明	10,800 円
・年1回 CT レントゲン (トラブル発生の早期発見の為、ご協力下さい。)	5,400 円

※ インプラントに関するご相談などはお気軽にお聞きください。費用はかかりません。

○ インプラント治療の総額(検査料含まず)

- ・インプラント治療 (診査診断料込み) 1本 (BrainBase・KENTEC) 総額 324,000 円
- ・インプラント治療 (診査診断料込み) 1本 (straumann・zimmer) 総額 399,600 円
- ・インプラント治療 (審査診断料込み) 1本 (Nobel Biocare) 総額 459,000 円

※ 特徴につきましては、ガイダンス時にご説明します。

○ 上部構造をメタルボンド以外で選択した場合

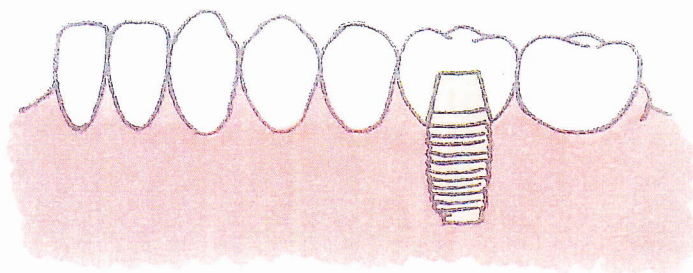
- ・PGFMC(小臼歯) ▲55,000 円
- ・PGFMC(大臼歯) ▲50,000 円
- ・オールセラミック ▲20,000 円

○ 造骨

- ・造骨後、当医院でインプラント埋入又は入れ歯製作 54,000 円
- ・造骨後、他医院でインプラント予定 108,000 円

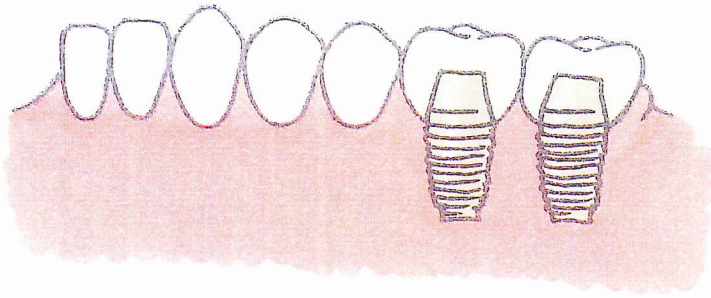
※ 金属の高騰により、価格が変動する場合がありますのでご了承下さい。(2014年12月)

・欠損部位、使用する本数により、上記を基本として打つ本数とオプションや上部構造体によって、掛かる費用の総額が変わって来ます。(プラス CT レントゲン検査分析料)



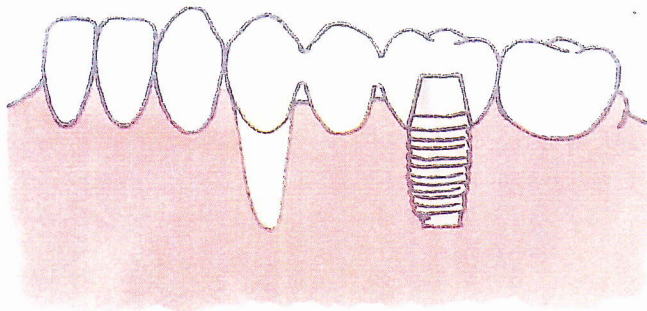
1本欠損

総額 324,000～459,000 円



2本欠損

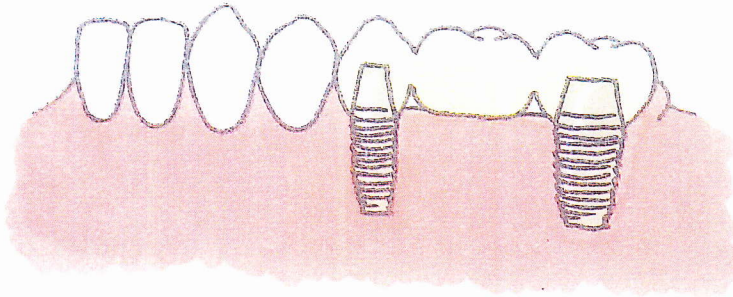
総額 648,000～918,000 円



2本欠損

・1本インプラント天然歯とのブリッジ

これは天然歯への負担が大きくなるための禁忌とされています。当医院では行いません。



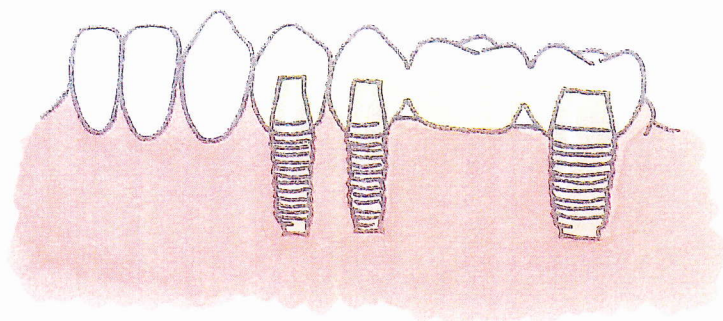
3本欠損

・インプラント2本植立しブリッジを装着

総額 660,900～1,044,000 円

・インプラント3本植立し単独クラウンを装着

総額 972,000～1,377,000 円



4 本欠損

- ・インプラント3本植立し単独クラウンとブリッジを装着した場合

総額 1,296,000～1,836,000 円

※欠損の本数が多くなるに従い総額は大きくなりますが、単純にインプラントの本数が増える訳ではありません。歯の無くなった本数分が無くても橋渡しする事で、費用を少なくすることも可能です。(ケースにより咬合のバランスと耐久性との兼ね合いによる、10～14本欠損の場合は、6～8本のインプラントで持たせて行く事が出来る)

※本数に関係なく CT レントゲン検査分析を必ず併用して下さい。(約 37,800 円)

詳しくは、スタッフまでお問い合わせください。お答えさせていただきます。御相談までは無料です。

- ・どんな治療も長い期間の間には再治療で費用がかかる事に成りますが、インプラント治療は、保険外の部分入れ歯と比べて、10年以上の期間ではほぼ同じか、それ以下の費用になると思われます。(いろいろなケースで個人差はあります。)
- ・例えば、1本のインプラント治療費として掛かった費用全体(約40万円)を、年数なり日割り計算で換算した場合では、1本当たり日額(10年として)110円くらいです。
- ・3本歯が無い場合には、インプラントを2本使う場合と3本使う場合がありますが、約120万円(40万円×2本プラス12万円か40万円×3本)くらいとして、日額(10年として)329円くらいです。部分入れ歯の保険外治療では、20万円から35万円くらいですが、10年間で2回くらい作ったとすると、同じくらいか、少し安いかもしれません。しかし、インプラントの利点と比べた場合、快適さと噛むと言う機能面では圧倒的にインプラント義歯の方が上です。

○ メンテナンスについて

- ・インプラント治療後は、メンテナンスとして定期健診時に検査料が掛かります。

基本料として 3,780 円掛かります。しかし、本来のお口の口腔内検査やレントゲン検査料、口腔内記録写真などを含めると、8,000 円～10,000 円くらい掛かるところを、基本料金で定期健診を受けて頂きトラブルに合わない様にして頂く事が目的です。

- ・メンテナンスは、治療直後は通常毎月、半年後からは、年間 1～2 回は必要です。
- ・年 1 回 CT スキャンによるレントゲン診査を受けていただきます。5,400 円負担となりますが、トラブル発生の早期発見の為にもご協力をお願いします。

○ インプラント治療についての保証

- ・とうせい歯科医院では、インプラント治療を受けられた患者さんに対して、保証制度を導入しております。
- ・保証制度が適用される患者さんは、歯科医師の治療計画と方針に従って頂き、治療完了後は、メンテナンス検診を定期的実施していただいている方が対象と成ります。治療計画や方針に従って頂けない方やメンテナンス検診が定期的に行われていない患者さんに対しては、申し訳ありませんが、保証制度の適応外とさせていただきます。

- ・インプラント治療後の保証については、以下の様になります。

- ・インプラント体フィクスチャー（本体） 10 年間
- ・インプラント体上部構造・アバットメント（支柱） 5 年間
- ・インプラント体上部構造・スーパーストラクチャー（歯冠部分） 5 年間

※ 上記の期間は、無償にてインプラント体の保証を致します。撤去から再治療に掛かる費用を無償にて当医院が責任もって再治療致します。

- ・咬合に問題がある方（ブラキシズムのある方など）には、ナイトガードの使用をお願いします。
- ・使用していただけない方には、ご説明の上メンテナンスの期間が短期間になるか、保証に関して条件を付与させていただきます。
- ・メンテナンスを実施していただけない方、ブラキシズムの方でナイトガードを使用していただけない方のトラブルに関しましては、有償での取り扱いとさせていただきます。

※ 特にブラキシズムの方々には、歯冠部分（被せもの）の表面が欠けたり割れたりしやすいために、短期間でトラブルが出て有償での修理をお願いする事が多いためです。御了解の程をお願いします。（ブラキシズムの患者さんには事前に説明をいたします。納得の上で治療に入ってください。）

以上となります。

